

第7回白山地域小学校の在り方検討委員会 事項書

令和7年8月1日（金）

午後7時～

白山市民会館 2階大会議室

1 委員長あいさつ

2 議事

- (1) 白山地域小学校の在り方に係る今後の方向性について

3 その他

「白山地域小学校の今後の在り方に係る住民説明会」について

- 1 開催日時 令和 7 年 7 月 2 1 日（月・祝） 午前 1 0 時～午前 1 2 時
※午前 1 1 時 3 0 分終了予定を午前 1 2 時まで時間延長
- 2 場所 津市白山総合文化センター しらさぎホール
- 3 内容
 - ・教育長あいさつ
 - ・「白山地域小学校の在り方検討委員会」委員長あいさつ
 - ・白山地域小学校の在り方に係る経過、小学校統合案説明
 - ・質疑応答（約 7 5 分間）
- 4 一般参加者数 2 0 9 人
※託児利用 5 人
- 5 主催者側人数 白山地域小学校の在り方検討委員会委員 2 6 人
教育委員会 2 5 人
- 6 質疑等 1 3 人から質疑等
主な質疑内容は別紙のとおり

白山地域小学校の今後の在り方に係る住民説明会での主な質疑内容

◆ 学校の場所の選定

	質問・要望内容	回答
1	白山中学校はハザードマップで浸水深3m未満にもかかわらず、約2億円をかけて長寿命化改修を実施した。白山中学校と同様にハザードマップの優先するのではなく、利便性や機能性など様々なメリット・デメリットを総合的に考慮して小学校の統合位置を決定すべきではないか。	全ての学校をハザードマップ上の安全な場所に移転するのは非現実的であるため、白山中学校の工事を実施したが、新しい学校をつくる場合は、より安全な場所を検討した。
2	大三を選んだことが良かったと思えるような対策を講じてほしい。	地域住民からの様々な思いや提案された要望をしっかりと受け止める。
3	弁天川の底の土砂除去などの防災対策を実施したらよいのではないか。	
4	川口小学校は中心地にあるので大規模改修し、嵩上げて活用したほうが良いのではないか。	児童数が減少する中で、少しでも早く教育環境を整備してほしいというご意見をいただいている。しっかりと受け止めさせていただく。
5	中心地の川口小学校を拠点として、小中一貫教育なども含めた中長期的な視点で検討してほしい。	
6	大三地区は、これから先も人口が減らない。将来の児童数を見据え、最適な場所に学校配置をしてほしい。	-
7	ハザードマップで危険とされている場所に、わざわざ学校を統合する必要があるのか。子どもの安全を最優先に統合場所を決定してほしい。	-
8	大三小学校とする決定が、川の氾濫以外のリスク（特に大地震）への備えや、日常の利便性を含め、総合的に判断されたか疑問。	大三小学校の校舎は昭和57年建設で、新耐震基準に基づいて建てられていて、耐震性はある。大三小学校は液状化現象の対象外であることが確認されている。
9	大三小学校の地震に対する安全性及び避難所としての機能について、具体的にどこまで検討されたのか。	
10	ハザードマップだけで結論づけられていると感じた。	ハザードマップを客観的指標として進めてきた。出入口の安全性や混雑について、具体的な解決策は提示することができるものはない。市内でも出入口が1ヶ所の学校はあり、安全対策を行っている他校の事例がある。
11	ハザードマップ以外の大三小学校のデメリット（入口が1ヶ所、渋滞など）についても、具体化し、大三小学校が妥当であるということを示してほしい。	
12	学校統合において、利便性（特に日中の女性の送り迎えの負担軽減）を考慮すると、川口が一番良い。	新しい学校をつくる時は「安全性」は外すことができないと考えている。
13	学校統合の判断において、ハザードマップだけでなく、様々な要素を総合的に再考してほしい。	
14	大三になると、ハツ山や家城などの地域における人口減少・過疎化を加速させる可能性があるのでは、考え直してほしい。	学校だけでなく地域コミュニティの役割も重要であるとの意見を認識し、受け止めている。
15	美杉地区はどうなるのか。白山町との合併を想定した場合、太郎生は名張へ、近いところは川口へ行くといった計画はどうなのか。	美杉地域については具体的な計画は現段階ではない。

◆ 通学対策

	質問・要望内容	回答
1	スクールバスの運行について、低学年の場合はハプニング(気分不良、車酔い、トイレ等)が起こりやすく、計画通りの運行は難しく、教育活動への影響が出てくるのではないか。	子どもたちの負担軽減を最優先に、今後コース数やバスの大きさなどを検討する。
2	遠距離通学においてハプニング(気分不良、車酔い、トイレ等)の発生頻度が高まることへの具体的な対策はどのように考えているか。	
3	保護者(特に高齢の祖父母)が日中に学校へ向かう際の、交通(国道165号線など)の安全性確保について配慮してほしい。	皆様、ご家族の方の安全が第一であると考えている。
4	有事の際の危機管理について、緊急引き渡し時の対応、スクールバス乗車中の災害発生時の対応など、子どもの安全確保に関する具体的な方策、見通し、詳細を教えてください。	新しい学校に応じた、新しい危機管理マニュアルを作成し、運用する。引き渡しとなった場合は、学校は子どもたちの安全を最優先に、迎えに来ていただくまで責任を持ってお預かりさせていただく。
5	大三小学校区も小学校の低学年だけでもスクールバスで送迎してもらえないか。	今後も徒歩通学が前提となる。ご理解をいただきたいと現段階では考えている。
6	大三地区は、児童数の推移を考えると、これから先も人口が減らない。バスの費用対効果も考えていく必要がある。	-
7	大三小学校の進入路など、利便性を高めるための変更や改善を検討することも可能であると考えている。	-
8	スクールバスの運転手は人手不足の現状で、計画されている数の運転手を確保できるのか。	バス運転手の確保が今後の大きな課題であることは想定しており、子どもたちの負担軽減と併せて検討が必要がある。
9	スクールバスの運行に伴い、小学校までの道を安全に通行できるのか。徒歩通学の児童もいるので、通学路の安全性確保(道の拡幅等)を検討してほしい。	バスの運行方法や徒歩通学者の安全対策についても検討する。
10	一斉下校・通学時、多数のスクールバスが集まる際の駐車場所を確保や、その際の危険性を回避する対策を講じてほしい。	

◆ 施設改修

	質問・要望内容	回答
1	大三小学校の改修の際に、教室の着替えではなく更衣室を設置し、実りのある教育を行ってほしい。	校舎については、決定次第、望ましい形を検討していきたい。
2	大三に学校の場所が決まった以上、早急に工事に着工してほしい。	地域住民の様々な思いや提案された要望をしっかり受け止める。
3	設計と工事は一般競争入札となるのか。	競争入札で実施する予定で計画している。
4	児童が毎日安全に通学できるようしてほしい。	大規模改造の概要: 構造体(躯体)はそのままに、内外装、給排水設備、エレベーター設置などを全面的に改修する。鉄筋コンクリートの構造体は、一般的に80年の耐用年数があると言われている。 今回の改修により、校舎は今後20年から30年程度は活用できる見込みである。
5	南海トラフ地震の想定(30年で70%)を踏まえ、耐震(免震)対策を進めてほしい。	
6	築40年程度で老朽化する鉄筋コンクリート校舎の耐震対応についても、子どもの安全の観点から検討してほしい。	
7	温暖化を考慮し、校舎の最適な向き(南向きか北向きか)について、専門家の意見も踏まえて検討してほしい。	

◆ 教育内容等

	質問・要望内容	回答
1	学校統合ありきではなく、少人数の子どもたちに対しても、教員配置の充実により「きめ細やかな教育」をしてほしい。	一人ひとりの成長を重視する小規模教育を実施している。多様な意見に触れる機会も考慮し、一定数の児童数を確保しながら、子どもたちのより良い成長につなげていきたい。
2	統合により失われる現在の良い点(きめ細やかな教育など)を、新しい統合小学校でどのようにカバーしていくか(教育方針、教育理念、内容など)についての議論を、現在の統合場所に関する議論と並行して進めてほしい。	白山の学校の良さは、地域との強い繋がり、地域の協力による学校運営にある。新しい小学校への統合後、この地域との繋がりが希薄になることを懸念している。 学校運営協議会に各地域から委員を出したり、新しい学校の校歌なども、統合される各校の思いを網羅されるようにしていきたい。 今後も地域の方々の力を借りながら、学校と地域の繋がりを十分意識した学校運営や準備を進めていきたい。
3	新しい統合小学校でどのような教育が行われるのか、現行の白山の各小学校で行われてきた良い点は、統合後どのように継承されていくのか、議論は今後どのように進められるのか。スケジュールはどう考えているのか。	
4	元取と家城が統合した時は、校歌に元取のことを入れてもらった。小学校の校歌を作成する際、遠方から通う生徒の気持ちを汲んだ素晴らしいものにしてほしい。	より良い学校となるようしっかりと取り組んでいきたい。 新しい学校の校歌なども、統合される各校の思いを網羅されるようにしていきたい。

◆ 学校跡地利用

	質問・要望内容	回答
1	家城、川口には小学校もできない跡地が残る。君ヶ野ダムの調査・補強及び弁天川の補強を早急に進めてほしい。	お答えできない部分が多いが、地域住民からの様々な思いや提案された要望をしっかりと受け止める。

白山地域小学校の統合後の場所及び整備方法(案)

資料2

◆最短で令和11年度開校をめざす

統合後の
場所

大三
小学校

選定理由

◆安全性

- ・災害時等における安全性を最優先に選定
(ハザードマップ等で最も災害時の影響が少ない
と想定される)

◆利便性

- ・主要幹線道路(国道165号線)沿いにある
- ・近鉄大三駅に近い
- ・最寄りの公共施設
白山総合文化センター、うぐいす図書館

◆容量(規模)

- ・現施設で教室数が充足



現在の大三小学校校舎

整備方法

大規模
改造

選定理由

◆開校時期

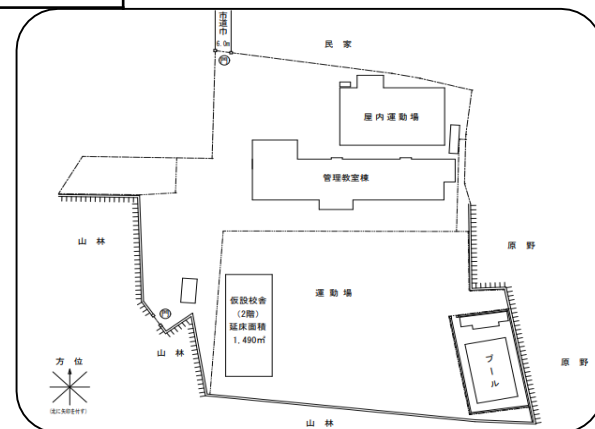
- ・新築と比較して、早期に統合が可能

◆費用負担

- ・新築と比較して、費用負担が少ない

◆安全性

- ・大規模改造の場合も安全性や耐震性に問題なし



既存校舎を活用した大規模改造

今後の予定(学校に関すること)

◆ 学校施設の整備

●大規模改造の実施

内壁・外壁の改修、設備機器・配管の更新、エレベーターの設置、トイレ・プール改修、給食調理室のドライ化



大規模改造した一志西小学校校舎

◆ 学校運営に関すること

●教育内容の充実

- ・統合までの間における交流事業の実施
- ・教育方針 など

●学校名、校歌、校章、校旗などの決定

●閉校・開校記念式典に関すること



一志西小学校の校章・校旗

◆ 通学対策

●スクールバスのルート設定、通学路の安全対策等

◆ 地域・PTA活動等との連携

●学校運営協議会、PTA、各地域団体等との連携

●学校跡地の利活用



旧大井小学校舎を活用した
一志学園高等学校の様子